



第43回 毎日こどもピアノコンクール 札幌地区予選 連弾の部



審査員講評

たなせみづえ
棚瀬美鶴恵先生 (当番審査員)

この度は札幌の連弾の審査をさせて頂きました。素晴らしい審査員の先生方がお揃いのなか、僭越ながら私が講評を書かせていただきます。

まだまだマスク生活の中、連弾に挑戦してくださいました生徒の皆さん、支えてくださいましたご父兄の皆様にも感謝申し上げます。

連弾は聴いているこちらワクワクしてくる楽しさがあります。皆さんどの方もソロとは違うアンサンブルを楽しんでいるのが伝わってまいりました。

ただ、まだ相手の音を聞く余裕のないペアもいらっしゃいましたが、相手の音も含めて一つの音楽ですので、両方のパートを弾けるようにすることも連弾の大切な要素となります。素晴らしいアンサンブルになって我々を楽しませて下さったペアもいらっしゃいました。

是非、これからも連弾から音楽の豊かさを学んでいかれてほしいと思います。

普段のレッスンでも先生と連弾を楽しまれたり、豊かな音楽を経験して頂きたいと思いました。



第43回 毎日こどもピアノコンクール 札幌地区予選 連弾の部



審査員講評

はったすみえ
八田寿美恵先生 (当番審査員)

7月15日、海の日に相応しい30°Cの気温の中、1人の欠席者もなく、小学6年生と連弾の部の皆さんが立派にステージでの演奏を終えられたことに大きな拍手を送りたいと思います。支えてくださったご家族、指導者の方々にも心より感謝申し上げます。

連弾の部では、それぞれのデュオが息を合わせ、バランスを考えた素晴らしい演奏でした。何より、演奏している皆さんが楽しんでいる様子が伝わり、私たち審査員も大変楽しく聴かせていただきました。

小学校6年生の部でお伝えしたアドバイスは、連弾にも共通します。さらにダイナミクスの幅を広げ、立体感のある、より魅力的な演奏を目指してください。連弾では、相手の音にも耳を澄まし、ソロ以上にバランスや呼吸を意識することが求められます。この経験は、ソロ演奏にも大いに役立つでしょう。

連弾は、一台の楽器で楽しめる最も身近なアンサンブルの一つです。ぜひ多くの方に経験していただきたいと心から願っています。来年はさらに多くの連弾参加者が集まることを期待し、楽しみにしています。

連弾の部

並びは演奏順です

第43回 毎日こどもピアノコンクール
札幌地区予選



赤松波音・赤松和佳（A部門）

篠田雅実・塚本小椰（C部門）



井上陽香・井上絢香（B部門）

清水美空・清水夢（C部門）



道下結理・道下陽真理（B部門）

今井南緒・千葉涼乃（C部門）



澁谷和輝・松井鈴華（A部門）

関野莉子・久保田明莉（B部門）

濱田倫花・濱田結花（B部門）